

## 我孫子市学校給食施設整備方針（案）

本市の学校給食は、全校単独調理場方式（自校方式）で実施しています。このような中、小学校の給食施設は大半が建築後30～40年以上経過しており、老朽化に伴う施設設備の修繕費・更新費が増大しています。一方、平成21年度に学校給食法において学校給食衛生管理基準が位置づけられ、食数に適した広さにすることや非汚染作業区域と汚染作業区域を部屋単位で区分する事、ドライシステム方式の導入に努めることなどが謳われています。また、食物アレルギー対応への配慮、児童生徒数の減少に対応したトータルコストの縮減など、多角的な視点での給食施設整備が必要となっています。こうした背景から、「我孫子市学校給食施設整備方針」では、児童生徒に安全で美味しい給食を提供するため、本市における学校給食のあり方を示します。

## I 学校給食施設整備基本方針

- ① 安全安心な学校給食の提供と衛生管理を徹底する
- ② 「学校給食衛生管理基準」に適合した施設整備を目指す
- ③ 食物アレルギー対応を安全に行える施設を目指す
- ④ 単独調理場方式（自校方式）を基本とする
- ⑤ 「我孫子市学校施設個別施設計画」に準拠する
- ⑥ 施設とともに設備の老朽化に伴う更新についても計画する
- ⑦ 児童生徒数の減少を踏まえ経済性・効率性に配慮した学校給食運営推進
- ⑧ 「小中一貫教育」への対応を考慮する
- ⑨ 地元農産物を活用した給食の充実と食育の推進を重視する
- ⑩ 給食の提供への支障が少なくなるように工期等を設定する

## II 給食運営方式の比較・検討

### 1. 給食運営方式別の一般的な特徴（詳細は別紙参照）

- (1) 単独調理場方式（自校方式） ○…メリット ●…デメリット
- 調理後すぐに喫食できるため、適温での提供ができる
  - 提供までの時間を短縮できるため、手作りを基本としたバラエティ豊かな給食を提供することができる
  - 栄養教諭・栄養職員がいることで教職員との連携が図られ、栄養・給食指導等の食育が推進できる
  - 19校の給食施設・設備に投資が必要
  - 学校毎に栄養士の配置、調理業務委託料が必要

## (2) 親子方式

- 保温性に優れた食缶を使用すれば適温での提供は可能である
- 親校から近隣の学校に運ぶため、手作りを基本としたバラエティ豊かな給食を提供できる
- 栄養教諭・栄養職員が教職員との連携を図り、親校及び子校の食育全体計画を策定し、計画的に栄養・給食指導等の食育を推進する
- 給食施設・設備への投資は子校分減るが、搬出搬入関係の改修経費が必要
- 子校分の調理業務委託料が減るが、親校から子校への配送経費が必要

## (3) 共同調理場（センター）方式

- 保温性に優れた食缶を使用すれば適温での提供は可能だが、自校方式よりは劣る
- 栄養士の人件費、調理業務委託料が抑制できる
- 給食センター施設・設備に投資が必要
- 配送の関係で、献立内容の制約が多く、手作りメニューやバイキング・セレクト給食等の特色ある給食の実施は困難
- 栄養教諭・栄養職員が学校にいないため、栄養・給食指導等の食育が後退する

## 2. パターンの設定

### (1) パターン A

現在の給食運営方式を継続

内訳：単独調理場方式（自校方式） 19校

### (2) パターン B

一部の学校給食施設を親子方式に変更

内訳：単独調理場方式（自校方式） 15校、親子方式4校

親子方式：湖東小（親）湖西小（子） ・ 根小（親）並小（子）

### (3) パターン C

市内全校を共同調理場（センター）方式で統一

内訳：共同調理場（センター） 1施設

## 3. 給食室整備計画の検討内容（案）

別紙参照



#### 4. 各パターンの比較・検討

##### (1) 整備費（工事費、備品購入費）

パターン A・B について、学校給食衛生管理基準を踏まえたうえ、建設工事費＋備品購入費を試算しました。パターン B については、親子方式に変更する学校は、搬出と搬入を可能にするための工事が必要になるため、これも整備費に加算します。パターン C については、近隣市の事例を参考に記載しています。また、パターン C の場合、各学校には配膳室が必要になるため、これも整備費に加算します。パターン C の用地費については、市有地を活用する場合においては不要であり、新たに土地を取得する場合であっても土地の状況により価格が大きく異なることから算入していません。同様に造成費や側溝工事費についても算入していません。

##### パターン A

19校の改築、長寿命化改修等の概算費用は約21億円が見込まれる。

（布佐中区、東小、西小の5校は各々、最小限の修繕費でコストを算出）

##### パターン B

15校の長寿命化改修の概算費用は約18億円が見込まれる。この他、4校を親子方式に変更するための親校給食室増改修と子校配膳室改修工事の概算費用は約2億円が見込まれる。

##### パターン C

近隣市の事例を参考にすると、建設にかかる概算費用は29億円前後が見込まれる。

##### (2) 運営費

パターン A・B・C について、1年間の運営費（調理業務委託料、栄養士人件費、施設維持管理費）を令和2年度予算額等により試算しました。なお、試算の対象としたのは、給食管理、調理・配送業務に直接関係のある項目とし、光熱水費、一般事務費（消耗品、事務職員人件費等）は算入しません。

##### パターン A

調理業務委託料は約416,883千円、栄養士人件費は約79,200千円、施設維持管理費は18,095千円、合計514,178千円

##### パターン B

調理業務委託料は約418,403千円、栄養士人件費は約61,600千円、施設維持管理費は16,285千円、合計496,288千円

## パターン C

近隣市の事例を参考にすると、運営費・維持管理費は、466,667千円  
栄養士人件費は11,800千円、合計478,467千円

### (3) ソフト面の比較

#### ①安全性

単独調理場方式（自校方式）、親子方式、共同調理場（センター）方式を比較した場合、各方式とも学校給食法に規定される学校給食衛生管理基準を遵守しなければならないことに変わりはないため、調理業務における衛生管理面での違いはありません。

なお、食中毒が発生した場合の被害については、センター方式は広範囲に及びます。

一方、給食センターが短期集中的に建設できる点に対し、親子方式、自校方式は校舎の改修計画とリンクさせて工事を行うため、実現までに長期間を要します。

#### ②献立内容・食育

自校方式や親子方式は、手作りを基本としたバラエティに富む献立内容であり、出来立ての給食が提供されることに対し、センター方式は、配送の関係で献立内容に制約があり、調理の仕上げ時間が早いため、食味が劣ります。

また、自校方式の場合、調理の様子（匂い、音など）を感じたり、栄養教諭等や調理員と触れ合ったりすることができますが、センター方式の学校では困難なため、配膳員との交流や専用見学コースを設けるなど調理の様子を学習できる仕組みを補完する必要があります。

地産地消については、年間計画に沿ってできるだけ我孫子市産の食材を購入することとしています。自校方式や親子方式では、ロット数が少ないため、栄養教諭等が柔軟に食材を調達でき、我孫子市の農業の特徴である少量多品目の野菜作りに合致しています。

#### ③切れ目のない給食提供

給食センターの建設、改修の工事期間中は、既存の給食施設により給食を提供することが可能です。

しかし、単独調理場の改修及び親子給食に係る改修工事期間中は、給食の提供が困難であり、家庭から弁当を持参する必要があります。

### Ⅲ総合評価・方向性

共同調理場（センター）方式には運営費を削減できる等のメリットがありますが、学校給食施設整備の基本方針に配慮し、自校方式を継続しながら、一部親子方式を検討します。

学校給食を継続的かつ安定的に提供するため、老朽化が進んでいる既存施設の改修を我孫子市学校施設個別施設計画に沿ってすすめます。（別紙整備計画参照）

布佐中区は、学校施設のあり方を今後検討する中で、給食施設の整備計画についても併せて考えていきます。

また、児童生徒数の減少を見据え、湖北台東小学校と湖北台西小学校の給食施設については、親子給食の検討を行いました。布佐中区に続き、湖北台中区内学校施設の複合化等の可能性を見据え、今後15年以内での親子給食への方式変更は行わないこととします。

なお、湖北台西小学校の給食施設は市内の中でも一番老朽化が進んでいることから、今後10～15年間維持できるレベルの修繕を行います。

根戸小学校と並木小学校の給食は、既存施設の改修費用が軽微ですむことから、給食及び食育の内容について、自校方式と同レベルの質を確保することを条件として、将来的には親子方式への変更を検討します。



給食実施方式（一般的な特徴）

項目	自校方式	センター（共同調理場）方式	親子方式	デリバリー食缶（民間調理場）方式
学校給食の目標 (学校給食法第2条)	1 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。 2 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。 3 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。 4 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。 5 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。 6 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。 7 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解を導くこと。	複数の学校の給食を1つの調理場で調理し、専用配送車で各学校へ配達・配食する方式 各学校で調理・洗浄作業は行わない	自校方式の給食が近隣の学校の給食も調理し、専用の配送車で学校へ配達する方式 学校では配膳員が給食を受け取り、各学級に配膳する。学校では調理・洗浄作業は行わない	外部の給食業者に委託し給食業務を分散して行う方式 食缶で提供する方式と弁当箱で提供する方式がある
実施方式	学校に給食室を設置し校内で給食を調理する方式 各学校で調理、配膳、洗浄まで行う	食中毒が発生した場合の被害は広範囲に及ぶ恐れあり	食中毒が発生した場合の被害は少ない	食中毒が発生した場合の被害は広範囲に及ぶ恐れあり
衛生管理	調理後すぐに喫食できるため、適温での提供ができる	保温性に優れた食缶を使用すれば適温での提供は可能だが自校方式よりは劣る	保温性に優れた食缶を使用すれば適温での提供ができる	保温性に優れた食缶を使用すれば適温での提供は可能だが自校方式よりは劣る
配送面	配送がないため、特に問題なし	配送に伴うため、事故等により提供が遅れるリスクあり	配送は伴うが、動線が短いためリスクを最小限に抑えることができる	配送に伴うため、事故等により提供が遅れるリスクあり。自治体外の民間調理場の場合リスクさらに増える
献立内容	提供までの時間を短縮できるため、手作りを基本としたバラエティ豊かな給食を提供することができる。また、地元産品が推進しやすい	配送の関係で、献立内容の制約が多く、手作りのメニューやバイキング・セレクト給食等の特色ある給食の実施や地元産品の推進は困難である	親戚から近隣の学校に通うため、手作りを基本としたバラエティ豊かな給食を提供することができる。また、地元産品が推進しやすい	配送の関係で、献立内容の制約が多く、手作りのメニューやバイキング・セレクト給食等の特色ある給食の実施や地元産品の推進は困難である
食育	栄養教諭・栄養職員がいることで教職員との連携が図られ、栄養・給食指導等の食育が推進できる。また、子どもと調理員のコミュニケーションがあり、調理の手伝いが理解しやすく感謝の気持ちが育まれる	栄養教諭・栄養職員が学校にいないため、栄養・給食指導等の食育が後退する	栄養教諭・栄養職員が教職員との連携を図り、親戚及び学校の食育全体計画を策定し、計画的に栄養・給食指導等の食育を実施する	栄養教諭・栄養職員が学校にいないため、栄養・給食指導等の食育が後退する
アレルギー対策	個別のアレルギー対応が可能	より安全を独立した除去食調理室の設置が可能 個別のアレルギー対応は困難	個別のアレルギー対応が可能	個別のアレルギー対応は困難
施設管理費用	各車で給食施設・設備に投資が必要	用地取得、給食センター建設、調理機器等購入・維持管理に多額の経費が必要	調理機器増設や給食室増設及び配膳室整備のための改修が必要	民間事業者の調理施設を使用するため、施設管理費用の抑制が可能
運営費用	・学校ごとに調理業務委託料必要 多額の経費がかかる ・学校ごとに栄養士の配置が必要	・1箇所での給食が作れるため、調理業務委託料の抑制が可能。 ・学校までの配送料がかかる。 ・センターに栄養士の配置が必要 ・各学校に配膳員の配置が必要	・調理業務委託料は配送費用を含まなければ学校分が経費となり経費の抑制が可能 ・親戚から学校までの配送費用がかかる ・学校に配膳員の配置が必要 ・親子両校を一人の栄養士が兼務する	・1箇所での給食が作れるため、調理業務委託料は抑制できるが、割高になるおそれあり ・各校への配送費がかかる ・各校に配膳員の配置が必要
その他	建築基準法上、共同調理場の用途は「工場」のため、原則として建設場所は工業系の用途地域に限られる	建築基準法上、共同調理場の用途は「工場」のため、原則として建設場所は工業系の用途地域に限られる	他校へ給食を配送する場合、親戚の給食室の用途は建築基準法上「工場」になるため、用途地域が工業系以外の場合、建築基準法第48条ただし書の許可が必要	近隣（調理後2時間以内）に喫食可能な地域）に食缶方式及び弁当箱による給食を長期的に提供できる民間業者が確保できない
事例	我孫子市全校 八王子市立小中学校 柏市（給食センター式と併用）	川口市 戸田市 柏市（自校方式と併用） 八王子市（現在、4センター建設中）	神奈川県愛川町 八王子市（一部小中学校で実施）※2	北海道伊達市学校給食センター（PFI活用）※1 石川県野々市市給食センター（PFI活用） 八王子市小中学校（弁当のデリバリー）

※1 近隣の社管町の小中学校4校の給食も調理、配食

※2 八王子市は自校式、親子式、弁当デリバリーの3方式で運用、新たに給食センター方式を採用。

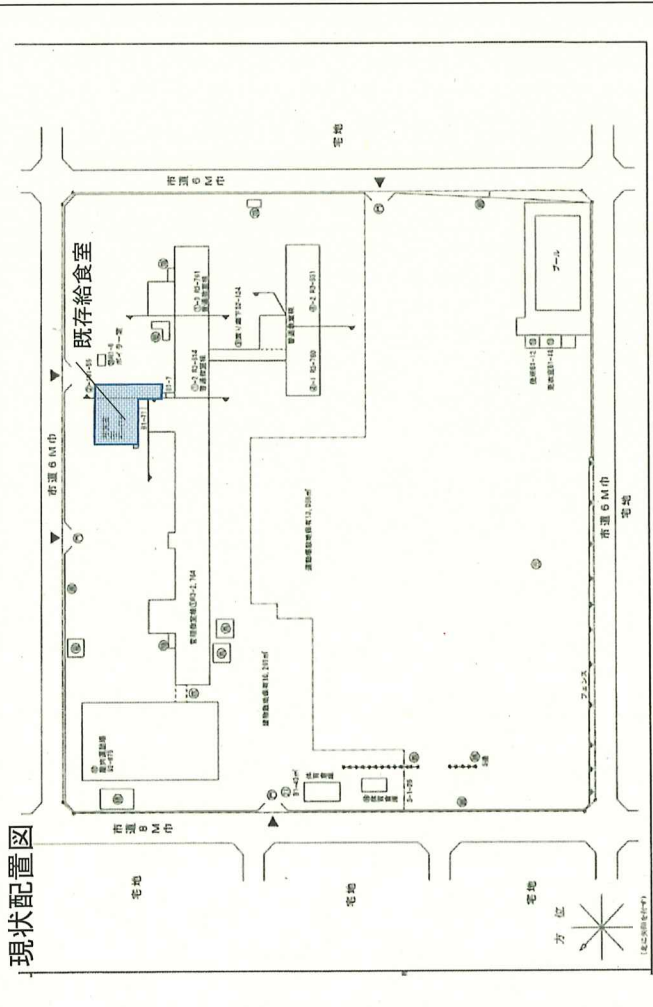
我孫子市 給食室整備計画の検討内容

区分	学校名	構造地	建築年	築年数	現状 面積 (㎡)	検討内容	実施時期 (年度)	検討内容				児童生徒数(人)						
								①改築 コスト	改築 コスト	②改修 コスト	改修 コスト	③親子 コスト	親子 コスト	給食数	R1	R11	R21	R31
1	湖北台西小学校	RC造(併設)	S47.1	48	121	①改築 ②最小限の修繕 ③親子(親・算小)	2022	330㎡	1.4億円	182㎡	0.1億円	89㎡	0.2億円	335	300	243	264	233
2	我孫子第一小学校	W造 増築+ボイラー室 RC造(併設) W造休憩室増築+ボイラー室7㎡トイル3㎡	S49.9 S46.3 S48.3	45 49 47	55 128 20	配膳室改修 改築校舎に併設して整備	2022 2032	330㎡	1.1億円					590	539	392	443	408
3	我孫子第四小学校	RC造+ボイラー室3㎡(併設)	S53.3	42	232	①梁・改築部分の1階に整備 ②梁・改修+増築 (232㎡→425㎡)	2024	425㎡	1.4億円	425㎡	1.0億円			958	883	846	734	658
4	高野山小学校	RC造(併設)	S50.3	45	117	②改修(改修+増築) (217㎡→425㎡)	2030			425㎡	1.1億円			670	607	476	522	457
5	我孫子第三小学校	RC造 増築(併設)	S55.11	39	100													
5	我孫子第三小学校	RC造(併設)	S50.12	44	108	②改修(改修+増築)	2028			425㎡	1.0億円			785	720	696	586	558
6	我孫子第二小学校	RC造 増築 S造 増築+ボイラー室3㎡(併設)	S59.3 S62.9	36 32	124 181	②改修(改修+増築)	2047			330㎡	0.8億円			455	418	514	477	366
7	新木小学校	RC造(併設) S造 増築	S55.4 S60.3	39 35	192 18	②改修(改修+増築) (210㎡→330㎡)	2035			330㎡	0.8億円			505	454	302	319	322
8	並木小学校	RC造(併設)	S56.4	38	268	②改修(改修+増築) (268㎡→330㎡)	2023			330㎡	0.7億円			400	361	308	271	276
9	布佐南小学校	RC造(併設)	S58.3	37	281	③親子(親・根戸小) ②改修(親・根戸小) (268㎡のうち100㎡を配膳室)	2037					100㎡	0.2億円					
10	布佐小学校	RC造(併設) RC造 増築	S50.3 S57.8	45 37	167 15	適正配置で検討(最小限の修繕)								191	169	213	221	180
11	湖北小学校	RC造(併設) S造 検収室増築	S52.5 H15.9	42 16	212 9	適正配置で検討(最小限の修繕)	2037			330㎡	0.7億円			400	360	292	286	253
12	湖北台東小学校	RC造+ボイラー室4㎡+倉庫3㎡(併設)	S52.3	43	186	②最小限の修繕 ②大規模改修 ③親子(子:西小) 増築・新築	2028			186㎡	0.1億円							
12	湖北台東小学校	RC造+ボイラー室4㎡+倉庫3㎡(併設)	S52.3	43	186	②大規模改修	2028			186㎡	0.3億円	400㎡	1.3億円	334	294	193	220	214
13	白山中学校	RC造(独立棟)	H05.2	27	332	②改修(改修+増築) (332㎡→425㎡)	2030							850	794	588	561	517
14	湖北台中学校	S造 増築(独立棟)	H08.3	22	314	②改修(改修+増築) (314㎡→330㎡)	2036			330㎡	0.6億円			360	319	175	221	231
15	布佐中学校	S造 増築(独立棟)	H09.2	23	319	適正配置で検討(最小限の修繕)								244	210	171	215	178
16	我孫子中学校	S造 増築(併設)	H10.2	21	395	②改修(改修+増築) (395㎡→425㎡)	2022			425㎡	0.8億円			918	884	781	702	643
17	湖北中学校	RC造(独立棟)	H11.3	20	321	②改修(改修+増築) (321㎡→330㎡)	2040			330㎡	0.6億円			442	404	306	277	286
18	久寺家中学校	S造(独立棟)	H11.3	20	307	②改修(改修+増築) (307㎡→425㎡)	2040			425㎡	0.9億円			620	575	395	303	396
19	根戸小学校	RC造(併設)	H20.3	12	438	②改修	2037			438㎡	0.7億円			961	894	567	696	779

3.9億円 11.3億円 2.9億円

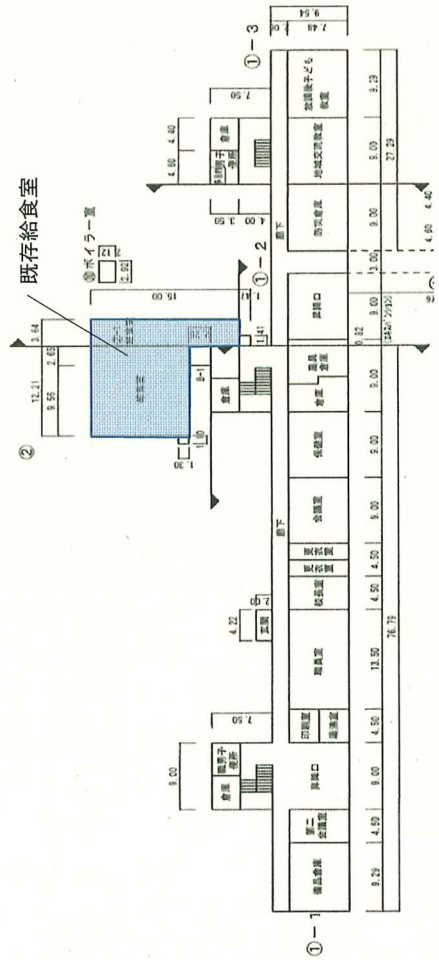


現 状

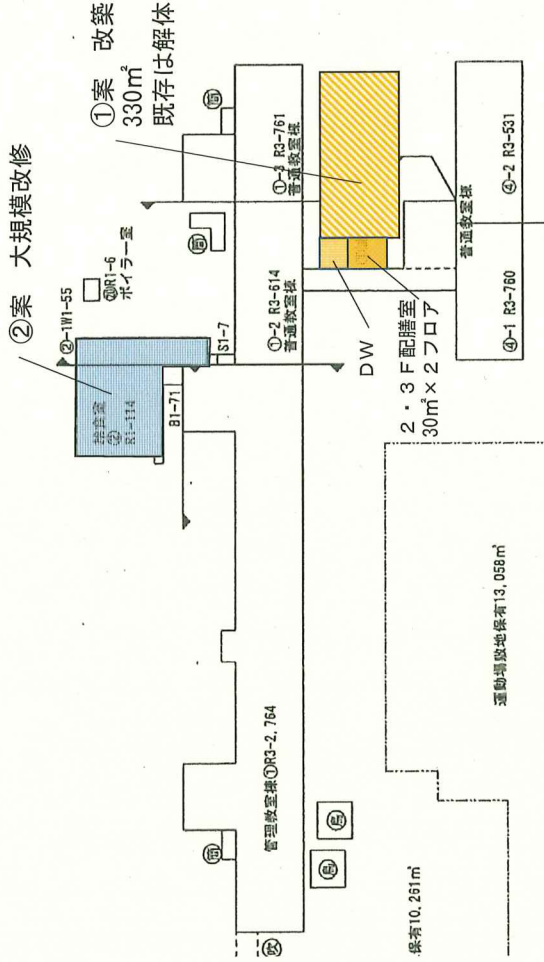


施設平面図

- 既存給食室の問題点
- ・ W造部分の壁の亀裂から、蟻が侵入する。
  - ・ 換気が悪く、冬場は天井等に結露が多く、給食に混入の危険性がある。
  - ・ 蛍光灯の経年劣化により、交換しても点灯しない不具合が多発
  - ・ グレーチングの劣化
  - ・ 築45年を経過しており部位全体の劣化が進行している。



整 備 案



①案 改築

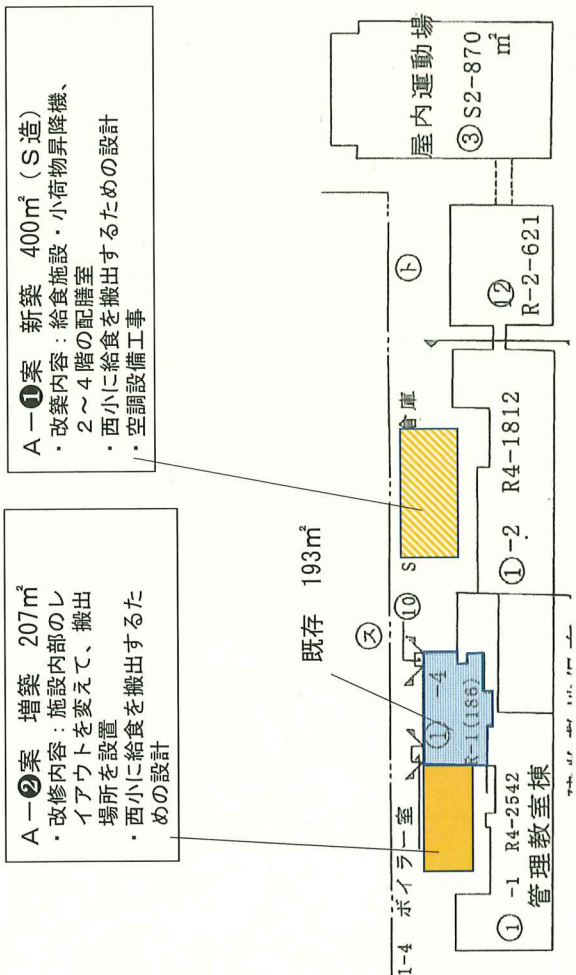
項目・仕様	数量	単価	金額 (千円)
改築 (S造)	330㎡	33万円/㎡	108,900
解体	182㎡	3万円/㎡	5,460
配膳室2・3階 (30㎡×2)	60㎡	33万円/㎡	19,800
DW	1基	800万円	8,000
計			142,160

②案 大規模改修

項目・仕様	数量	単価	金額 (千円)
大規模改修	182㎡	8万円/㎡	14,560
改修内容			
検収した処理コーナー ・ 壁付換気扇の修理 調理室 ・ 屋上給排気設備の修繕 ・ グレーチング枠の修繕 洗浄室、配膳室 (W造) ・ 外壁の改修 共通事項 ・ 屋上防水工事 ・ 蛍光灯をLEDに交換			
計			14,560

親子方式 (親・東小→子・西小)

湖北台東小学校



**A-②案 増築 207㎡**  
 ・改修内容：施設内部のレイアウトを変えて、搬出場所を設置  
 ・西小に給食を搬出するための設計

**A-①案 新築 400㎡ (S造)**  
 ・改築内容：給食施設・小荷物昇降機、2～4階の配膳室  
 ・西小に給食を搬出するための設計  
 ・空調設備工事

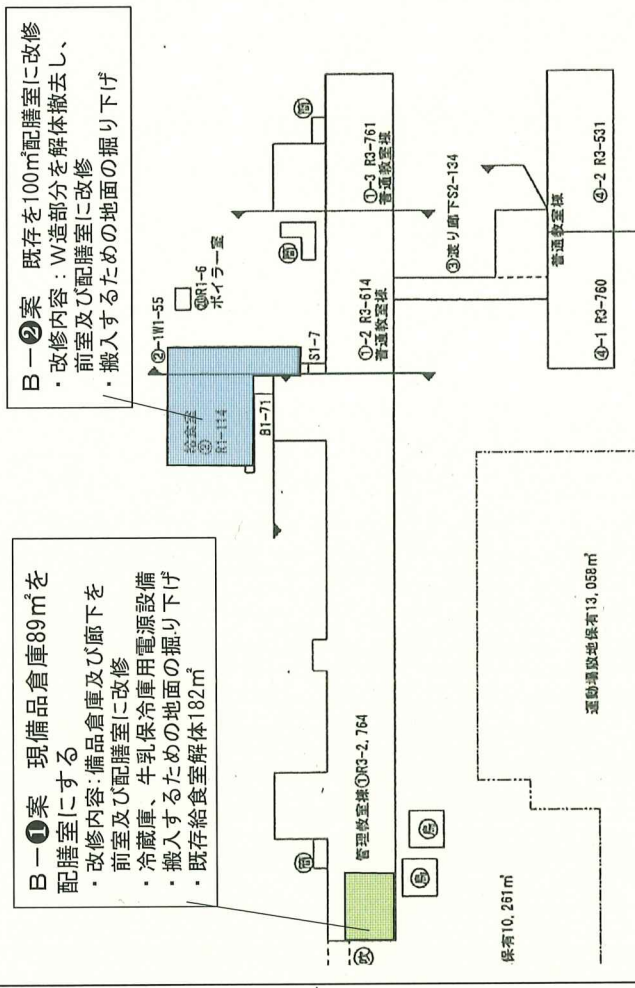
A-①案

項目・仕様	数量	単価	金額 (千円)
新築 (S造)	400㎡	33万円/㎡	132,000
解体	193㎡	3万円/㎡	5,790
計			137,790

A-②案

項目・仕様	数量	単価	金額 (千円)
増築 (S造)	207㎡	33万円/㎡	68,310
改修	193㎡	17万円/㎡	32,810
計			101,120

湖北台西小学校



**B-①案 現備品倉庫89㎡を配膳室にする**  
 ・改修内容：備品倉庫及び廊下を前室及び配膳室に改修  
 ・冷蔵庫、牛乳保冷庫用電源設備  
 ・搬入するための地面の掘り下げ  
 ・既存給食室解体182㎡

**B-②案 既存を100㎡配膳室に改修**  
 ・改修内容：W造部分を解体撤去し、前室及び配膳室に改修  
 ・搬入するための地面の掘り下げ

B-①案

項目・仕様	数量	単価	金額 (千円)
備品庫を配膳室に改修	89㎡	17万円/㎡	15,130
解体	182㎡	3万円/㎡	5,460
計			20,590

B-②案

項目・仕様	数量	単価	金額 (千円)
既存給食室部分を配膳室に内部改修	100㎡	17万円/㎡	17,000
計			17,000

学校名	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)	2036 (R18)	2037 (R19)	2038 (R20)	2039 (R21)	2040 (R22)	2041 (R23)	
久寺 中学校区	久寺 並小 部分修繕 (屋上防水 換気設備)																根小 改修 (親子給食へ の改修)			久中 屋上防水 換気設備		
白山 中学校区	一 小 四 小 白 中			四小 改築または 改修	四小 改築または 改修	四小 改築または 改修				白中 修繕	白中 修繕	一 小 改築	一 小 改築	一 小 改築								
我孫子 中学校区	我 孫 子 中 学 校 区	我 中 屋上防水 換気設備		二小 部分修繕				三小 改修	三小 改修	高小 改修	高小 改修											
湖北 台中 学校区	湖 北 台 中 学 校 区	西 小 改修						東小 改修 レベル検討 (仮)	東小 改修 レベル検討 (仮)	通正規模・適 正配置、 施設の複合化 の検討(仮)							台 中 修繕 (仮)	台 中 修繕 (仮)				
湖北 中 学 校 区	湖 北 中 学 校 区																	湖 小 改修		湖 中 屋上防水 換気設備		
布佐 中 学 校 区	布 佐 中 学 校 区				南小 改修(仮)												南小 改修(仮)	南小 改修(仮)				